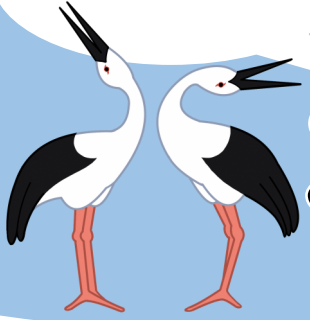




カタカタ通信

第93号

「巢材集め チガヤ編」

2023年10月2日

今回は、飼育作業の合間に行っている巢材集めのお話です。

コウノトリの繁殖期に向け、事前に巢材を集めています。昨年の秋はチガヤを集めていました。天空の里周辺に生えているチガヤが枯れてから刈り取って、干したものを袋に詰めて保管し、繁殖期に巢材として与えていました。しかし全然足りませんでした。そこで、他のイネ科の草を試してみましたが、枯れてから干さないとボロボロになってしまい、あまり巢材に向いていませんでした。

今年は巢材のストック量を増やすため、チガヤが枯れるまで待たずに刈り取り始めました。干してみると、枯れてから干した巢材と同じくらいの出来栄です。チガヤが枯れるまで待つ必要はなかったようです。休館日の火曜日にはチガヤを刈り取り、1週間干してから保管することを2カ月続けました。現在は昨年の倍以上の巢材を集めることができます。これだけ保管できれば、来年ヒナが孵化しても十分足りると思います。今後は、枝の収集も始める予定です。



チガヤ



刈り取って干します



乾燥したものは保管します

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい